

事業計画の特徴

- 木質バイオマスを中心とする再生可能エネルギーの積極的な導入や滝上町グリーン購入基準、環境配慮方針に基づく滝上町電力（仮称）の電力調達等、町ぐるみの意識啓発による省エネルギー・節電等の取り組みを定着させ、CO2排出量の削減を目指す
- 診療所や消防支署等の建て替えにあわせて、ZEB化することで町の脱炭素化のモデルとして、取り組みを広く周知することができるとともに、他の民間施設への展開が可能
- 急激な積雪等に対する防災減災を目的として、主たる防災拠点や一般住宅に自立型電源を確保する

事業計画の概要（民間）

再エネ：366kW

取組（個人）	規模
太陽光発電設備の導入	・ 15件 ・ 75kW
蓄電池の導入	・ 15件
薪・ペレットストーブの導入	・ 15件
薪・ペレットボイラーの導入	・ 5件
高効率給湯器の導入	・ 15件
取組（事業者）	規模
太陽光発電の導入	・ 1件 ・ 291kW

事業計画の概要（公共）

再エネ：480kW

町立国保診療所等への太陽光発電の導入（PPA等）	・ 4件 ・ 330kW
蓄電池の導入	・ 4件
木質バイオマスCHP（コジェネ）の導入	・ 4件 ・ 150kW
公共施設のnearly ZEB化	・ 2件

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	総事業費	交付金額	計画期間
846kW	27,449 t-CO2	30億円	10.6億円	令和5年度 ～ 令和9年度

取組のイメージ



廃棄物系資源・未利用資源のイメージ